

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月29日

上場会社名 株式会社 ユー・エス・エス
 コード番号 4732 URL <http://www.ussnet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 之弘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役統括本部長 (氏名) 山中 雅文
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

上場取引所 東 名

TEL 052-689-1129

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	18,677	—	7,078	—	7,139	—	3,743	—
20年3月期第1四半期	16,839	7.4	6,418	3.3	6,496	3.5	3,602	3.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	116.90	116.90
20年3月期第1四半期	112.80	112.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	145,559	118,611	81.2	3,690.37
20年3月期	150,737	117,577	77.7	3,657.55

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 118,181百万円 20年3月期 117,130百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	60.00	—	85.00	145.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	82.50	—	82.50	165.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	34,750	4.6	13,250	4.2	13,350	3.4	7,300	3.8	227.95
通期	72,700	4.2	28,300	4.0	28,500	3.7	15,750	3.6	491.81

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無
- (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	32,695,982株	20年3月期	32,695,982株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	671,806株	20年3月期	671,801株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	32,024,178株	20年3月期第1四半期	31,940,000株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、米国におけるサブプライム住宅ローン問題に端を発した世界的な金融不安や、原油をはじめとした原材料価格の高騰などによる企業収益の悪化、生活必需品の値上げによる個人消費の伸び悩みなど景気の先行き不透明感が強まる状況となりました。

自動車流通市場は、普通乗用車の新車販売台数については下げ止まり感を見せたものの、自動車買替年数の長期化や暫定税率復活以降のガソリン価格高騰による消費者心理の悪化などにより、新車登録台数全体では前年同期と比較して1.9%減少し、中古車登録台数は3.8%減となりました。（（社）日本自動車販売協会連合会、（社）全国軽自動車協会連合会調べ）

オートオークション市場は、自動車流通市場が厳しい状況のなかで比較的順調に推移し出品台数は227万台（前年同期比6.1%増）、成約率は52.9%（前年同期実績55.8%）と推移しました。（月刊ユーストカー調べ）

このような経営環境のなかでU S Sグループは、会員の利便性を高めるため既存設備の更新や会員サービスの促進を図りました。この結果、当第1四半期の連結売上高18,677百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益7,078百万円（前年同期比10.3%増）、経常利益7,139百万円（前年同期比9.9%増）となり、当期純利益は3,743百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

オートオークション事業

オートオークション事業につきましては、引き続き地域ごとに圧倒的なシェアを獲得する「地域一番会場戦略」を掲げ、取扱台数や会員数の増加に向けた営業活動を行いました。5月には出品車両用ストックヤードが手狭であった流通会場を埼玉県越谷市から千葉県野田市（旧R-東京会場）に移転し、オークション設備についても一新しました。また、同じく5月に東北会場についても会場内のポス席に座ったままで出品検索や指値応札など様々なサービスが操作可能な設備を導入し利便性を大幅に向上させ、さらなるオークション出品台数の増加に努めました。

これらの営業努力により、グループ全体で出品台数は78.9万台（前年同期比6.5%増）、成約台数は42.7万台（前年同期比3.4%増）、成約率54.2%（前年同期実績55.8%）となり、オートオークション事業は、外部顧客に対する売上高13,613百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益6,724百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

中古自動車等買取販売事業

中古自動車買取販売事業は、平成20年4月に会社分割により株式会社カークエストのラビット事業を事故現状車買取販売事業の株式会社R&W（旧株式会社ワールド自動車）に統合し、シナジー効果を発揮すべく両事業の買取情報を共有する体制を構築するとともに、市場を開拓するための営業開発チームを新たに発足させました。当第1四半期については中古自動車買取販売のラビット事業における買取台数は増加しましたが、オートオークションにおける車両相場が低調であったことなどにより、中古自動車買取販売事業、事故現状車買取販売事業ともに前年同様の台当たり利益を確保することは出来ませんでした。

この結果、中古自動車等買取販売事業は、外部顧客に対する売上高3,097百万円（前年同期比11.8%増）、営業利益34百万円（前年同期比56.9%減）となりました。

その他の事業

その他の事業につきましては、株式会社アビツは鉄などの金属類の市場価格が高騰する中で廃自動車を積極的に取扱ったことや、白物家電・空調機器等の取引先や建物解体業者などからリサイクル業者としての認知度が高まったことなどにより取扱量が増加しました。株式会社U S S 東洋は、人工芝向けゴムチップや質の高い再生ゴムの需要が引き続き堅調に推移しました。

この結果、その他の事業は、外部顧客に対する売上高1,966百万円（前年同期比58.5%増）、営業利益243百万円（前年同期比69.5%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は145,559百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,177百万円減少しました。これは、固定資産税の前払いなどにより流動資産のその他が707百万円増加したのに対し、現金及び預金が3,128百万円減少したことや、オークション需要期の前連結会計年度末と比較して、当第1四半期連結会計期間末のオークション取扱い台数が少ないことなどによりオークション貸勘定が3,112百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は26,947百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,212百万円減少しました。これは、前連結会計年度末と比較してオークション取扱い台数が少ないことなどによりオークション借勘定が2,970百万円減少したことや、5月末の法人税等の納税により未払法人税等が4,744百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は118,611百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,034百万円増加しました。これは、利益剰余金が1,021百万円増加したことなどによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して3,128百万円減少し、23,152百万円となりました。なお、当第1四半期連結会計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は2,263百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6,644百万円（前年同期比2.2%増）、子会社の配当に伴う源泉所得税などの預り金の増加1,555百万円（前年同期実績△36百万円）、減価償却費及びその他の償却費1,383百万円（前年同期比6.5%増）、法人税等の支払額7,712百万円（前年同期比19.6%増）などによるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果支出した資金は2,588百万円となりました。これは主に、新西東京会場の建設着手金や流通会場移転に伴う有形固定資産の取得による支出2,438百万円（前年同期比161.5%増）などによるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果支出した資金は2,803百万円となりました。これは主に、配当金の支払額2,722百万円（前年同期比70.5%増）などによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、原油・原材料価格の高騰、米国経済の減速、国際的な金融市場不安など、景気の先行き不透明感が強まる状況で推移すると思われ、自動車流通市場においてもガソリン価格高騰などによる消費者心理の悪化で先行きは楽観できない状況が続くものと思われま

す。国内における中古自動車市場につきましては、新車販売の低迷や海外への旺盛な中古自動車の輸出により国内における中古自動車の品薄感がしばらく続くものと思われま

す。このような状況のもと、当グループは積極的な設備投資などにより会場利便性向上や会員サービス向上を実現し、さらなるシェア拡大を目指してまいります。

当連結会計年度の業績予想につきましては想定した範囲内で推移しており、前回公表（平成20年3月期決算発表時）の業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ・ 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ・ 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。なお、この変更による営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。
- ・ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））および「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。この適用による総資産への影響は軽微であり、損益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,152,135	26,280,573
オークション貸勘定	8,767,244	11,879,459
受取手形及び売掛金	3,155,869	3,527,620
たな卸資産	1,204,160	1,365,431
その他	2,385,424	1,677,929
貸倒引当金	△75,588	△75,384
流動資産合計	38,589,246	44,655,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	35,901,215	36,087,398
土地	52,221,981	52,184,634
建設仮勘定	1,333,834	285,527
その他（純額）	5,974,256	5,724,483
有形固定資産合計	95,431,287	94,282,043
無形固定資産		
のれん	1,683,371	1,879,394
その他	1,394,298	1,390,012
無形固定資産合計	3,077,669	3,269,406
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,602,821	8,666,970
貸倒引当金	△141,407	△137,041
投資その他の資産合計	8,461,413	8,529,928
固定資産合計	106,970,370	106,081,378
資産合計	145,559,616	150,737,009
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	8,989,502	11,959,835
支払手形及び買掛金	628,303	643,098
短期借入金	2,305,920	2,305,920
未払法人税等	1,175,646	5,919,924
引当金	768,898	506,869
その他	7,267,960	6,106,788
流動負債合計	21,136,232	27,442,436
固定負債		
長期借入金	724,020	759,000
引当金	144,833	145,408
その他	4,942,763	4,813,103
固定負債合計	5,811,616	5,717,511
負債合計	26,947,848	33,159,948

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881,312	18,881,312
資本剰余金	27,992,143	27,992,143
利益剰余金	81,943,063	80,921,483
自己株式	△5,770,288	△5,770,252
株主資本合計	123,046,230	122,024,686
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	112,612	83,208
土地再評価差額金	△4,977,650	△4,977,650
評価・換算差額等合計	△4,865,038	△4,894,442
新株予約権	3,073	2,151
少数株主持分	427,501	444,665
純資産合計	118,611,767	117,577,061
負債純資産合計	145,559,616	150,737,009

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	18,677,284
売上原価	8,498,688
売上総利益	10,178,595
販売費及び一般管理費	3,100,061
営業利益	7,078,534
営業外収益	
受取利息	456
不動産賃貸料	41,145
雑収入	42,764
営業外収益合計	84,366
営業外費用	
支払利息	10,230
不動産賃貸原価	5,304
雑損失	7,391
営業外費用合計	22,927
経常利益	7,139,973
特別利益	
固定資産売却益	2,677
貸倒引当金戻入額	18,648
特別利益合計	21,326
特別損失	
固定資産売却損	207
固定資産除却損	197,546
役員退職慰労金	101,742
賃貸借契約解約損	198,530
その他	18,788
特別損失合計	516,815
税金等調整前四半期純利益	6,644,484
法人税、住民税及び事業税	2,833,179
法人税等合計	2,833,179
少数株主利益	67,669
四半期純利益	3,743,635

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	6,644,484
減価償却費及びその他の償却費	1,383,094
のれん償却額	196,029
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,570
賞与引当金の増減額(△は減少)	262,029
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,325
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,900
受取利息及び受取配当金	△820
支払利息	10,230
有形固定資産除売却損益(△は益)	131,446
オークション勘定の増減額(△は増加)	141,881
売上債権の増減額(△は増加)	371,751
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,795
預り金の増減額(△は減少)	1,555,218
その他	△696,847
小計	9,987,698
利息及び配当金の受取額	515
利息の支払額	△11,242
法人税等の支払額	△7,712,979
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,263,991
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,438,881
有形固定資産の売却による収入	5,237
無形固定資産の取得による支出	△113,346
長期前払費用の取得による支出	△35,371
その他	△6,239
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,588,601
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△34,980
預り保証金の預りによる収入	64,600
預り保証金の返還による支出	△26,516
自己株式の取得による支出	△36
子会社による子会社自己株式取得による支出	△84,840
配当金の支払額	△2,722,055
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,803,828
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,128,438
現金及び現金同等物の期首残高	26,280,573
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,152,135

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

（単位：千円）

	オートオーク ション事業	中古自動車等買 取販売事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	13,613,411	3,097,407	1,966,465	18,677,284	—	18,677,284
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	294,660	24	586	295,271	△295,271	—
計	13,908,072	3,097,432	1,967,051	18,972,556	△295,271	18,677,284
営業費用	7,183,506	3,062,877	1,723,519	11,969,902	△371,152	11,598,750
営業利益	6,724,565	34,555	243,532	7,002,653	75,880	7,078,534

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(単位：千円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
	金額
I 売上高	16,839,418
II 売上原価	7,263,636
売上総利益	9,575,781
III 販売費および一般管理費	3,157,094
営業利益	6,418,687
IV 営業外収益	113,463
1.受取利息	2,062
2.不動産賃貸収入	46,357
3.雑収入	65,043
V 営業外費用	35,715
1.支払利息	17,146
2.雑損失	18,569
経常利益	6,496,435
VI 特別利益	7,062
1.固定資産売却益	558
2.貸倒引当金戻入益	5,623
3.その他特別利益	880
VII 特別損失	1,103
1.固定資産売却損	561
2.固定資産除却損	542
税金等調整前四半期純利益	6,502,394
法人税、住民税および事業税	2,794,597
少数株主利益	104,879
四半期純利益	3,602,917

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(単位：千円)

	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
区分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 税金等調整前四半期純利益	6,502,394
2. 減価償却費および償却費	1,298,226
3. のれん償却額	218,687
4. 貸倒引当金の増加額	1,906
5. 賞与引当金の増加額	212,920
6. 退職給付引当金の増加額	3,709
7. 役員退職慰労引当金の減少額	△419,973
8. 受取利息および受取配当金	△2,263
9. 支払利息	17,146
10. 有形固定資産除売却損益	56
11. オークション勘定の増加額	△204,202
12. 受取手形および売掛金の増加額	△80,556
13. 支払手形および買掛金の減少額	△103,584
14. 預り金の減少額	△36,317
15. その他	△423,887
小計	6,984,263
16. 利息および配当金の受取額	1,933
17. 利息の支払額	△4,197
18. 法人税等の支払額	△6,450,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	531,714
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 有形固定資産の取得による支出	△932,549
2. 有形固定資産の売却による収入	5,218
3. 無形固定資産の取得による支出	△155,371
4. 投資有価証券の取得による支出	△150
5. 投資有価証券の売却による収入	100,390
6. 長期前払費用の増加による支出	△37,627
7. 連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	50,003
8. その他	3,162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△966,923

	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
区分	金額
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 長期借入金の返済による支出	△593,020
2. 預り保証金の預りによる収入	85,170
3. 預り保証金の返還による支出	△40,820
4. 株式の発行による収入	83,132
5. 自己株式の取得による支出	△46
6. 配当金の支払額	△1,596,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,062,198
Ⅳ 現金および現金同等物の減少額	△2,497,407
Ⅴ 現金および現金同等物の期首残高	21,149,728
Ⅵ 現金および現金同等物の期末残高	18,652,320

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

（単位：千円）

	オートオークション事業	中古自動車等買取販売事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	12,827,945	2,770,984	1,240,488	16,839,418	—	16,839,418
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	144,930	—	431	145,362	△145,362	—
計	12,972,875	2,770,984	1,240,920	16,984,781	△145,362	16,839,418
営業費用	6,849,366	2,690,836	1,097,232	10,637,435	△216,704	10,420,731
営業利益	6,123,509	80,147	143,687	6,347,345	71,341	6,418,687

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

決算発表（参考資料）

1. 業績

（連結業績）

（単位：億円）

	20年3月期		21年3月期	
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	168	186	10.9	727
営業利益	64	70	10.3	283
経常利益	64	71	9.9	285
当期純利益	36	37	3.9	157

2. 種類別営業収益

（連結業績）

（単位：億円）

	20年3月期		21年3月期	
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション事業》				
出品手数料	36	38	6.2	151
成約手数料	30	32	6.2	128
落札手数料	39	40	3.7	166
商品売上高	5	6	7.0	15
その他の営業収入	16	18	10.9	76
オートオークション事業計	128	136	6.1	538
《中古自動車等買取販売事業》				
中古自動車買取販売	15	18	19.8	77
事故現状車買取販売	12	12	1.5	52
中古自動車等買取販売事業計	27	30	11.8	130
《その他の事業》				
廃自動車等のリサイクル	10	17	68.8	46
廃ゴムのリサイクル	2	2	9.6	11
その他の事業計	12	19	58.5	57
合計	168	186	10.9	727

3. 設備投資額、減価償却費

（連結業績）

（単位：億円）

	20年3月期		21年3月期	
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	9	24	161.5	110
完工ベース	24	14	△37.7	140
減価償却費	12	13	6.4	61